



造形実技

(120分)

環境科学部

環境建築デザイン学科

注意事項

1. 解答開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
また、解答開始の合図があるまで、筆記用具を使用してはいけません。
2. 問題は1題のみで1ページです。
3. 提出はデッサンボード1枚です。縦・横いずれの向きに用いてもかまいません。
4. 下書き用紙(A3用紙・2枚)は自由に使ってよい。
5. 受験番号と氏名は、デッサンボード裏面の記入欄に書きなさい。裏面には解答を描かないこと。
6. 描画には黒鉛筆・消しゴムのみ使用すること。定規・コンパスなどを使用してはいけません。ただし、羽根ぼうきまたは製図用ブラシは使用できます。鉛筆削り、カッターは鉛筆を削る場合に限って使用できます。
7. 試験終了後、下書き用紙と問題冊子は持ち帰ってください。

問題

3.5 m × 3.5 m × 10 m の直方体 Z がある。直方体 Z の中身は空洞である。各面の厚みは、6 面いずれも厚さ 50 cm である。この直方体 Z を切断し、4 つの部材に分割せよ。それらを用いて、平坦な地面の上に空間を構成せよ。

解答にあたっては、下記の条件すべてをふまえ、手順の指示に従いデッサンボードに描け。問題・条件・手順に記されていないことについては、自由に構想してよい。

<空間構成の条件>

- ・切断した各部材はすべて用いること。
- ・それぞれの部材が接するか、離れるかは自由に構想してよい。
- ・切断した各部材以外の部材を用いてはならない。
- ・切断した各部材は、折ったり曲げたりするなどの変形はできない。

<手順 1・検討>

直方体 Z を、どのように切断し、4 つの部材に分割したのかがわかる図をデッサンボードに描きなさい。

<手順 2・描画>

切断した各部材を用いた空間構成をデッサンボードに描け。描画にあたっては、必ず人型のモデルを添えよ。また、構成した空間の意図や特徴を表すうえで、ふさわしい視点から描くこと。

<手順 3・プレゼンテーション>

描いた空間構成にタイトルをつけ、デッサンボード内に記せ。タイトルもプレゼンテーションの一部と考え、適切に表現せよ。